

社会－８（公民的分野） 議論を通して現実社会が抱える課題について説明，論述する事例
【学習活動の概要】

1 単元名 我が国の政治について考えよう		
2 単元の目標 政治についての基礎的・基本的な知識や概念を習得し，それらを活用して，国の政治をめぐる課題についてその原因や解決方法について，思考・判断し，その結果や過程を適切に表現する。		
3 評価規準 【社会的事象への関心・意欲・態度】 ・我が国の政治の現状について興味・関心を持ち，意見文作成，グループ協議やパネルディスカッションなどの学習活動に対して意欲的に取り組んでいる。 【社会的な思考・判断・表現】 ・国民の政治参加や国の政治を取り巻く課題を発見し，原因や解決策について思考・判断して，その過程や結果をグループ協議やパネルディスカッションなどの中で表現している。 【資料活用の技能】 ・国民の政治参加や国の政治を取り巻く課題について統計資料や様々な立場の人たちの意見を活用しながら，課題の解決のために役立つ情報を読み取っている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・国民の政治参加，国会，内閣，裁判所など国の政治の仕組みについて理解し，その基礎的・基本的な内容についての知識を身に付けている。		
4 教材 憲法に定められているように，国政は主権者である国民の意思を尊重しながら，国民の代表者によって行われている。しかしながら，昨今，国民の政治不信や，投票率の低下に見られる政治的無関心などの社会的状況が生まれてきている。このような中で，未来の有権者である生徒自身が，政治を取り巻く課題について思考・判断することは非常に重要である。		
5 主な学習活動 (1)単元の展開（全11時間）		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次	○選挙や世論などの国民の政治参加や国会・内閣・裁判所などの我が国の政治の仕組みの概要について理解し，その知識を習得する。(5)	
第二次	○課題「現在の我が国の政治を取り巻く課題を発見しよう」を設定し，政治が抱える課題を発見して追究する論題を決定する。(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでどのような課題があるのかを見つけ，その後クラス全体で議論をさせる。 ・意見文シート，反論シートに自分の考えを論述させる。 ・教師が議論をコーディネートし論点を明確にし生徒に自分自身の考えを論述させる。
第三次	○論題「選挙権を国民の義務とするべきである」を設定して，資料を基に，論題について自分の考えや立場をまとめ，意見文を作成する。(2)	
第四次	○グループ討議やパネルディスカッションを行い，議論を通して，自分自身の論題についての考えを深化・発展させて見直す。(2:本時2/2)	
(2)本時の学習（11/11時間）		
①目標 論題「選挙権を国民の義務とするべきである」のパネルディスカッションに対してパネリスト，フロアの立場で意欲的に取り組むことができる。また，パネルディスカッションにおいて自分の考えを主張するとともに，最終判断の中で周囲の考えを基に深化・発展させて自分の考えを見直すことができる。		
②本時の展開 ○意見発表～論題について賛成・反対の立場で3名ずつのパネラーが意見発表をする。 ○意見交換1～意見発表の内容に対して全体で質疑応答や意見交換をする。 ○意見交換2～意見交換1の争点に対して全体で質疑応答や意見交換をする。 ○最終判断～議論を総括して賛成・反対のいずれの考えを支持するか，最終判断をする。		

